成田市公民館 ニュースレター

第8号

令和６年
１月15日発行

令和５年５月から12月までに開催した公民館の講座の中から、主な子ども向け講座をピックアップしてご紹介します！

主な内容　にこにこ親子広場（P1）、なりた冒険塾（P2）、夏休み親子科学実験教室（P3）、親子で楽しむレスキューロボット工作教室（P4）、夏休み親子そば打ち教室（P5）、親子体験学習セミナー（P6）

令和５年５月13日･27日、６月10日･17日、７月１日･22日（土）「にこにこ親子広場」／中郷公民館

１歳半～３歳のお子さんと保護者を対象とした講座で、家庭にある身近なものを使って親子で遊ぶ楽しさを知ってもらおうと、全６回で開催しました。新聞紙遊びや絵の具スタンプ、夏祭りごっこなど、楽しい遊びが盛りだくさんでした。天候にも恵まれ、しゃぼん玉や水遊びなどの外遊びもおもいきり楽しめました。

６月17日、7月15日、8月26日(土)、9月17日、10月15日(日)、11月18日、12月２日(土)
「なりた冒険塾」／中央公民館

　この講座は、市内の小学4～6年生を対象に、「自ら学び自ら考える力」の育成を図ることを目的として毎年実施しています。子どもたちが「作戦会議」という打ち合わせを行い、「成田市ジュニアリーダークラブ」の中高生のサポートを受けながら、自分たちで学習内容を決めて活動します。
　今年度は、野田市にある清水公園でバーベキューと釣り体験をしたり、電車とバスを乗り継いで千葉県立中央博物館へ行き、ふるさと千葉について学ぶなど、様々な活動をしました。
　最後には、約半年間冒険塾で学んだことを活かし、一から企画したレクリエーションを実施することができました。冒険塾のなかまとの活動は、大切な思い出になったことと思います。

８月４日(金)　「夏休み親子科学実験教室」／中央公民館

　小学生を対象に、市内企業の協力のもと開催しました。企業の専門分野である「磁石」の性質を活かし、パチンコ玉と強力な磁石を用いた発射台装置を作りました。発射台から発射した玉を画用紙で作ったおばけに当てる仕組みなど、何度も遊べる楽しい仕掛けがされており、参加者は、熱中して工作に取り組んでいました。

　親子あわせて38名と多くの方にご参加いただき、工作を通して磁石について学ぶことができました。

8 月 19 日(土)･20 日（日）
「親子で楽しむレスキューロボット工作教室」／中央公民館

下総高校の協力のもと、2日間にわたって開催しました。1日目はロボットの基本部分を製作し、2日目は午前中にロボットの改造、午後はロボットをコースで走らせタイムレースを行いました。

親子で協力して作業を進め、電池ボックスとモーターの配線のはんだ付けをしたり、ドリルを使って部品に穴をあけたりするなど、本格的な工具を使って製作しました。また、どうしたらレスキューロボットがうまく障害物を乗り越え、速く走行できるかを考えながら改造し、オリジナルのロボットを完成させました。タイムレースでは、親子ともに夢中になって白熱した様子が見られました。

8月29日(火)「夏休み親子そば打ち教室」／中央公民館

成田山表参道にある「蕎麦処　ふじや」店主の滝沢氏を講師に迎え、親子で協力してそば打ちをしました。

感染症流行の影響で令和元年を最後に中断していたそば打ち教室でしたが、再開することができました。そば粉をふるう、こねる、包丁で切る、などの作業を体験しました。講座は和気あいあいと進み、親子で楽しくそば打ちを体験することができました。

参加者からは、「そば屋さんからていねいにそばの打ち方を教えてもらえた」「親子で一緒にそば打ちを体験できて良かった」などの感想をいただきました。

９月９日、10月７日、11月４日（土）
「親子体験学習セミナー」／中央公民館

ネイチャーゲーム体験教室

自然とふれあう「ネイチャーゲーム」を通して、自然環境への関心を深めてもらうことを目的として実施しました。赤坂公園で行う予定でしたが、悪天候のため、急遽、会場を公民館の講堂に変更して実施しました。講座の前半では、目隠しをした状態で追いかけっこをして獲物を捕らえるゲームや、鳥型飛行機や自然界の植物の種が落下してくる姿に見立てた「種コプター」を飛ばすゲームなどを行い、楽しみながら自然について学べました。

アイスクリームをつくろう

この講座では、牛乳についてのクイズ、氷の温度の下がり方の実験、アイスクリーム作り、アイスの種類についての学習をしました。

氷の実験では温度計を初めて使った子もおり、塩を入れることで氷の温度が下がっていくところをじっくりと観察しました。お待ちかねのアイスクリーム作りでは、材料を計量してボトル缶に入れ、氷と塩の入った袋の中に入れてひたすら振る作業を親子で協力して行いました。一生懸命振った後、缶の蓋を開けるとアイスクリームが完成しており、あちこちから歓喜の声が上がっていました。

草木染のエコバッグをつくろう

玉ねぎの皮を使って草木染のエコバッグを作りました。

作り方は、玉ねぎの皮を鍋に入れて煮込み、その後、模様をつけるためにエコバッグを割りばしや輪ゴムを使って縛ります。煮出した液をこして染め液が出来上がったら、それぞれ好きな色になるよう染め液と媒染剤(ばいせんざい)（色の定着を良くする物質）を混ぜ、エコバッグを浸してかき混ぜます。

最後に縛っていた輪ゴムや割りばしを解いて広げると、それぞれ少しずつ異なった色合いのオリジナルのエコバッグができました。作品が完成するまでに色々な工程があり、親子で協力して一つのものを完成させる達成感を味わえたのではないかと思います。